子ども議会

今年で4年目を迎える市内の小中高校生による子ども議会が、8月22日に勝山市議会議場で開催されました。

各学校から代表で選ばれた16名の子ども議員のみなさんは、日頃の社会科などの授業で習ったことに関心を持ち、アンケート調査や独自調査でデータを収集し、資料等にまとめるなどして、質問に臨みました。

環境問題や、少子高齢化問題など現在の社会問題を的確に捉えており、山岸市長をはじめ理事者は、それぞれの質問に対して、ていねいに回答をしていました。

市では、子どもたちの提案を、可能なものから具体的に取り組み、アイデアなどは市政に反映していきたいと考えています。

青少年の深夜徘徊(はいかい)をなくそう

福田七恵さん

勝山市内の少年の深夜徘徊から、大きな犯罪への発展を未然に防ぐためのまちづくりや環境づくりを、さらに進めてほしいです。

答 ボランティア体験を通した「ユースチャレンジャー隊」事業や高校生のパトロール活動体験を行っています。また、教育委員会では、次世代育成アクションプラン推進委員会から児童や生徒のみなさんが各地域の行事に積極的に参加するよう働きかけることで、地域の一員としての意識が芽生え、自分の居場所が見つかり、非行防止や深夜徘徊の防止につながるものと考えています。

今後の各機関の話し合いの中で、さらに具体的な取り組みについて考えていきます。

子ども議員

（質問順）

福田　七恵	勝山南高校
西脇　汐莉	勝山中部中学校
土田　哲生	村岡小学校
山内　翔平	勝山北部中学校
田中　駿也	北郷小学校
荒井　清美	成器南小学校
早川　皐	三室小学校
織田　唯希	鹿谷小学校
黒田　成美	荒土小学校
山内　美里	野向小学校
滝川　直樹	成器西小学校
前田　将登	勝山南部中学校
浦　由布子	勝山高校
原　駿太朗	平泉寺小学校
藤本　結子	かつやま子どもの村小学校
杉本　潤一	かつやま子どもの村中学校

観光客増加のまちづくり

西脇汐莉さん

観光客に勝山の良いところをアピールして勝山に住んでもらうための第一歩として、市街地にもっと人が集まるような施設や行事をつくってはどうでしょうか。

答 「勝山市エコミュージアム」の取り組みは、勝山市を活気ある元気なまちにして自信と誇りを持つことです。本町にも、自然遺産や歴史遺産を活用した屋根のないまちかど博物館づくりを考えています。

また、勝山の良いところをアピールするために、団塊の世代のかたなどを対象に「あなたを活かすふるさとづくり」をテーマに、住みたくなる定住促進や短期滞在について調査・研究しています。

「勝山の名所をまわるウォークラリー」については、良いアイデアですので、観光協会等の観光団体と相談します。

村岡町内の遺跡をみんなに知ってもらう

土田哲生さん

勝山市内に「歴史ウォーキングロード」をつくり、遺跡めぐりで歴史をもっとみんなに広く知ってもらうために、協力してほしいです。

答 長い歴史の中で先人が残した貴重な伝統や歴史を次世代に伝えようと「勝山市エコミュージアム」を推進し、各地区のまちづくり団体が活動しています。「歴史ウォーキングロード」もまちづくり団体に働きかけます。

市内の遺跡から出土した遺物を見学できる施設として、教育会館、遅羽公民館、勝山ニューホテル1階ロビーがありますので、ご利用ください。

また、遺跡や歴史遺産を広く市民に知ってもらうために、勝山市のホームページの活用など、効果的な広報活動について考えているところです。

勝山市の少子高齢化を解消するために

山内翔平さん

少子化に対する助成金制度や若者が住んでくれる工夫をもっと市民にアピールし、若者の視点やシルバーパワーを活用して、若者が誇りを持てるまちづくりや豊かな自然を活かした住みやすいまちづくりをしてはどうでしょうか。

答 「すくすく育成助成金」や乳幼児の医療費無料化などの助成制度により、少子化を食い止める努力をしているところです。また「勝山市補助金ガイドブック」を作成し全戸配布してアピールしていますが、さらに内容を充実したいと考えます。

そして、エコミュージアム活動では、勝山市の自然や風土、伝統、歴史といったものの再発見により、新たな活力が創出されます。若いかたの視点で、活動に参画し具体的な提案をお願いしたですし、高齢者と若者や子どもたちとの世代間交流を通して誰もが住みやすいまちづくりをめざしていきたいと考えます。

お年よりもみんな生き生き活動できる勝山に

田中駿也さん

お年寄りのかたがたが地域で生き生き活動して喜んでもらうために、公民館に空き缶回収機を設置し、空き缶集めをしてもらい、ポイント制にするとどうでしょうか。

答 空き缶回収機は1台450万円もします。また1台あたり月々約6万円の維持管理費も必要であり、現在のステーション方式での分別収集に協力してほしいと思います。

お年寄りは、生きた知恵袋ですから、楽しい学級活動で師範として活躍していただいては、どうでしょうか。

また、「家族でチャレンジかつやま エコファミリー」の取り組みを通して、家族で環境にやさしいライフスタイルづくりにチャレンジしてください。

学校プールの土・日曜日開放について

荒井清美さん

学校の体育館やグラウンドが土、日曜日に一般に開放されているのと同様に、学校のプールを土、日曜日に開放してはどうでしょうか。

監視員は、シルバー人材センターのかたにお願いしたり、バイトやボランティアを募ってみてはどうでしょうか。

答 「市民プール」として運営を考えた場合、現在のB&Gプールの活用をまず考えていただき、不都合が生じたとき学校プールも活用する方向で考えます。

一方、「学校プール開放」としては要望が大きければ、前向きに考えます。心身の健康と、すこやかに夏休みを過ごしていただくためにも、検討してみます。

魅力ある学校の庭・遊び場づくり

早川　皐さん

保育所の跡地を利用して、やすらぎの空間をイメージした庭や、マンモス型すべり台を作る計画をしていますが、市内の子どもたちのアイデアで庭や遊び場を作るときに難しい問題に対して、アドバイスや援助をしてもらえないでしょうか。

答 縄文時代の三室をイメージして、マンモス型のすべり台を考える発想は、夢とロマンがあり楽しいものです。

遊具の場合、安全面への配慮や多額の費用もかかることから、実現はなかなか困難です。PTAやライオンズクラブのかたがたの協力をお願いするなど今後もみんなで検討してください。